



Next Education Award

Next Education Award 2022

他薦締切:2022年1月17日(月) 自薦締切:2022年1月31日(月)

最終ファイナル:2022年5月1日(日)



[詳細はこちら](#)

Next Education Awardとは、
「今後世界が迎える課題を解決する人は現場から生まれる」という信念のもと、
そのような子どもを育む教育をしている教育者にスポットライトをあて、表彰する制度です。



活育教育財団

主催：一般財団法人活育教育財団

Next Education Award 2022

—世界を変える一歩は現場で始まっている—

日本初の包括的な教育アワード

世界は地球温暖化、少子高齢化、貧富の格差拡大など様々な課題に直面しています。その解決には数十年にわたる継続的な努力の他、課題に取り組むためのスキル、知識、マインドセットが必要です。それらを育む素晴らしい教育をしている教育者にスポットライトを当て、取り組んでいる教育内容や、実践活動を全国に周知していきたいと思っています。

ファイナルまで進んでいただくと、審査員を含めた教育者と繋がり、同じ志を持つ仲間をつくることができます。

次世代に向けた意欲的な実践の応募をお待ちしています！

個人・団体どちらの応募も可能です！

審査員



村上憲郎氏

株式会社 村上憲部事務所 代表取締役



合田哲雄氏

内閣府(科学技術・イノベーション推進事務局) 審議官



栗田佳代子氏

東京大学大学院教育学研究科教授、
同大学総合教育研究センター副センター長、
同新領域創成科学研究科特任教授



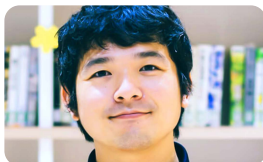
中室牧子氏

慶應義塾大学総合政策学部 教授



日野田直彦氏

武蔵野大学中学校高等学校・
武蔵野大学付属千代田高等学校 学頭



高木草太氏

追手門学院中学校高等学校 探究科 探究デザイナー



諸藤周平氏

一般財団法人活育教育財団 代表理事

応募要項

応募対象

幼児・小中高生を対象とする実践をされている方より、
広く実践を募集いたします。

AWARD VALUE

- ① Adaptability 持続性と汎用性のある実践
- ② Breakthrough チャレンジとオリジナリティのある実践
- ③ Contribution 地域や世界への貢献になる実践

スケジュール

1次審査・書類

他薦締切: 2022年1月17日(月)

自薦締切: 2022年1月31日(月)

2022年2月末: 2次進出者発表

2022年3月末: ファイナリスト10名選出・発表

2022年5月1日(日): ファイナル

- ・他薦: 他者や他の団体を推薦する方法
(素晴らしい取り組みをしている方、団体をご推薦ください。)
- ・自薦: ご自身でご応募いただく方法
(ご自身の取り組みや、所属する団体の取り組みについてご応募ください。)

詳細はこちら



特典

- ① ファイナルで選ばれた「最優秀賞者」には賞金10万円を授与いたします。
- ② 二次選考を突破したファイナリスト10名/組は、「お名前(団体名)、肩書、顔写真、実践内容」を本ウェブサイトで公開いたします。
- ③ ファイナリスト*は、ファイナル会場の福岡県糸島までの往復の交通費、宿泊費、昼食と夕食がカバーされます。*団体ご応募の場合は代表者1名のみ

